

事前評価調書

I 事業概要																						
事業名	治山事業（予防治山事業）																					
地区名	よつやしもよこて 四谷下横手																					
事業箇所	しんしろしよつやあざしもよこて 新城市四谷字下横手ほか 地内																					
事業のあらまし	当該溪流には溪岸侵食による不安定土砂の堆積及び流出が見られ、山地災害の危険性が高い。このため、地元からの要望と荒廃現況を勘案して、治山ダム工を実施する。																					
事業目標	【達成（主要）目標】 荒廃溪流を保全し、山地災害の未然防止を図る。 【副次目標】 —																					
事業費	事業費		内訳																			
	0.4億円		■工事費	0.4億円、□用補費	億円、□その他	億円																
事業期間	採択予定年度	2022年度	着工予定年度	2023年度	完成予定年度	2023年度																
事業内容	治山ダム工1個																					
II 評価																						
①事業の必要性	1) 必要性	当該地域では溪流の荒廃が進み、山地災害の発生の恐れがある。地元からは治山事業による整備が強く望まれている。 また、「費用便益分析マニュアル」に基づき算定したB/Cは6.2で1.0を越えており、効果が期待できる。																				
	判定	A	A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。 【理由】 山地災害の未然防止を図るうえで、当該地域における事業実施が必要であるため。																			
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2023</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工種</td> <td>工事</td> <td>←————→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>・治山ダム工</td> <td>←————→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table>							2023	合計	工種	工事	←————→		区分	・治山ダム工	←————→		事業費（億円）		0.4	0.4
			2023	合計																		
工種	工事	←————→																				
区分	・治山ダム工	←————→																				
事業費（億円）		0.4	0.4																			
判定	2) 地元の合意形成	地元区長を通じて所有者から要望が出されており、地元への説明を経て地元の了解が得られている。																				
	判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。 【理由】 事業計画に無理はなく、地元の了解も得られているため、事業の実効性は期待できる。																			
III 対応方針																						
事業実施が妥当である。	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。																					
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																						
■対象（事業完了後5年目） □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 治山ダム工周辺の溪流の状況から事業効果を評価する。																						

